えんちょう先生のわくわくだより

NO. 23

少々寒い朝も、サッカー．縄跳び．バトミントン．フラフープ．ブランコ．ケイドロ．や砂場遊びなど、園庭いっぱいに広がって遊ぶこどもと先生達。息は白いけど、顔は真っ赤の子もいます。Y先生は「あつい！」と半そで状態でした。この所、大きい年長さんが、ドッヂボールやケイドロなどの集団遊びに夢中なので、いつもは先に取られてしまう三輪車や一輪車が年少組に回って来て、いつも自由に乗りまわしています。今年はボールも増やし小さい子の中にも上手について遊ぶ姿を見ます。朝も、そして午後からも走り回って遊んでくれる先生達は倒れてしまわないかと心配する位です。「ちょっと座ると寝ちゃいそうだよ」と話すK先生。走りすぎて「足が痛いよ～」と若いK先生やT先生。年長さんのケイドロに入って走り回ってきた年少のS先生は「くやしい！今宝が取れそうだったのに～！」。自分のクラスだけでなく、みんなでこどもを見合っていける保育士の関係は、「今、○○ちゃん、こんな事を言ったんだよ」と他年児の先生から担任に伝わる事も多々あります。物だけでなく、人の関係の良さが、こどもには大きな影響を与えていきますね。

あそびの中から・・

いちご．ひよこ組の小さいこども達。そばの友達が泣いていると、次々とティッシュを取りに行って、泣いている友達に渡すんだよ・・と先生の話。小さくても、毎日一緒に生活している友達を気に掛けながら過ごすと、やさしさも芽生えるこども達ですね。

年長組のA君。いつもはちょっと控えめな男の子です。先日、朝の自由遊び時間にバトミントンをやり始めたら、何とその手つきのいい事、バトミントンクラブに入っている原田先生と打ち合いも出来るんです。「うまい！」「上手！」と誉められ、暫く続いた翌日、職員室につかつかと入ってきて「先生、バトミントンかして」と。張り切ったA君の声に、「はいはいどうぞ」と副園長の渡会先生が出してくれた。「この頃、劇の中でも大きな声がでるんだよ」と、年長の先生が話してくれました。こどもって「やった！」の経験は、大きな自信になるのだなあと思いました。

朝、あさがお組の子と「はないちもんめ」をして遊んだ。「勝って嬉しいはないちもんめ」「あの子がほしい」「この子がほしい」と掛け合いの歌をうたいながら、手をつないでぴんぴんと足を振り上げるこども達。くるくるとまるく集まって、みんなで誰がほしいかの相談です。

園長「誰にする？」

A「○○ちゃん！」

R「だめだめ、○○ちゃんは強いで弱い者にしにゃあ」

B「じゃあ、T先生にしょうか？」

R「だめやし、この間、相撲をしたとき、強かったで・・・」

C「じゃあ、ΔΔちゃんは？」

みんな「さんせ～い」となって、「△Δちゃんがほしい～」となった。二人が手をつなぎ力を出して引き合う所を、周りのみんなが「がんばれ～」と応援して、自分の方に引っぱってきたものなら、大喜びで、小踊りしている。年中組の今になると、大きい小さい．強い．弱いの比較も出来る様になって、こども達のこんな言葉の数々に、成長を感じ、つい微笑んでしまいました。

毎日毎日、柱に縛り付けた縄跳びの縄を回し続けて、こども達の「やりた～い！」に答えてくれているH先生。その柱の紐をほどいて、「今日は、園長先生が回すね」と仲間入りした。K君は毎日やっているだけに、今までも跳べてはいた様だったが、回し始めると、前に前にどんどん進んでしまうから、それについて二人の先生も前に前に・・ゆり組の前で始めた縄跳びが５０を数えた際には、桜組の前まで行っちゃいました。こどもと一緒にピカピカダンゴを作っていた年少組の二人の先生が、ニコニコ笑いながら、応援してくれてT君は、意気揚々。「やった！」の満足感に、自分からタッチに来てくれました。

こんな時を、一人でも多くの子に味合わせてやりたいなあと思ったひと時でした。

うさぎ組の先生がこんな話をしてくれました。Uちゃんは色の白いかわいい女の子です。そのUちゃんが髪を短く切って来た日のおやつ時、隣に座ったRくん、Uちゃんを覗き込んで　「これ、だれ～？」。保「これはUちゃんだてえ」R「ふーん～・・・」には、思わず笑えたと。２歳のこども達の会話は本当に楽しいね。このUちゃん、９月に入園してから泣けて、暫く１歳の弟の所に行っていたのに最近では迎えに来たお母さんに、「もっと園であそびたかったのに～」なんて言っているそうです。よかった！

体操が終わると、鉄棒に走っていく年少さん。鉄棒を両手で握り、足を掛けて、先生に「１．２．３・・・」と数えてもらいます。この「ぶたのまるやき」が一人で出来る様になる事がとても嬉しそう。大人から見たら、「こんな事か？」と思う様な、鉄棒の始めの一歩なのですが、３歳のこども達にとっては、とてつもなくすごい事が出来た感のある出来事なんです。先生に「こりゃあ、美味そうなまるやきだ！」何て言われて得意そう。こんな小さな得意を重ねていく生活が大事だね。